

コサナ

マヌカハニーの機能性に関する  
セミナーを開催  
寺尾社長「プロポリスやRJと競合しうる素材」

ニュージーランド産マヌカハニー(マヌカヘルス社製)の輸入販売を行うコサナ(東京都中央区、☎03・6262・1511)は14日、「美肌を作る蜂蜜の王様 マヌカハニー」と題したセミナーを開催。1月末に移転した東京新本社内のセミ

ナールームには約50名の聴講者が来場した。同社社長で神戸大学客員教授の寺尾啓二氏(写真)は、マヌカハニーの特徴的な機能として①メチルグリオキサール(MGO)の抗菌作用②シリング酸メチルの酸化作用③グルコン酸のビフィ

ズス菌増殖作用④環状アミノ酸、ロリンによるコラーゲン産生作用の4点を紹介。「マヌカハニーは「ハチミツ」の枠を超え、300億円規模の市場を持つプロポリスやローヤルゼリーと競合しうる素材だ」と期待を寄せた。



また、同社が取り扱うα・オリゴ糖(α・シクロデキストリン)とマヌカハニーの併用による抗菌作用の相乗効果を解

抑制することにも、どちらも腸内環境を善玉菌にとって有利な酸性に保つ働きがあるとした。寺尾氏はマヌカハ

説。マヌカハニーに含まれるMGOは悪玉菌に対して溶菌作用を示すのに対し、α・オリゴ糖は悪玉菌を糖化作用によって無力化することから、異なるアプローチで悪玉菌を抑制することにも、どちらも腸内環境を善玉菌にとって有利な酸性に保つ働きがあるとした。寺尾氏はマヌカハ

次回は、3月14日に「スキンケアのための科学 追求してついに生まれた美容液」と題したセミナーを開催することも発表された。